

会議録

会議の名称	第4回加西市元気なまちづくり市民会議
開催日時	平成30年10月17日(水) 午後2時00分～4時00分
開催場所	加西市役所 5階会議室
<p>議長の名 (会長 杉山 武志)</p> <p>出席及び欠席委員の名</p> <p><出席委員></p> <p>・久米澤 稔 ・杉本 建人 ・杉山 武志 ・武貞 綾香 ・辰巳 浩輝</p> <p>・谷勝 公代 ・辻田 聡信 ・淵脇 英義 ・森 信弘 ・吉田 廣</p> <p><欠席委員></p> <p>・高見 千里 ・吉田 英樹</p>	
<p>傍聴者の人数</p> <p>一般：なし 報道機関：なし</p>	
<p>出席した事務局職員の氏名及びその職名</p> <p>・ふるさと創造部長 森井 和喜</p> <p>・ふるさと創造部人口増政策課長 藤後 靖</p> <p>・ふるさと創造部人口増政策係長 後藤 伸嘉</p> <p>・ふるさと創造部人口増政策課主任 菅生 綾子</p> <p>・ふるさと創造部人口増政策課主任 岩野 裕之</p> <p>・ふるさと創造部人口増政策課主事 大西 弘晃</p> <p>・ふるさと創造部人口増政策課まちづくり専門員 小山 映</p>	
<p>1 議事</p> <p>(1) 外部評価の意見等について</p> <p>(2) 加西市行財政改革プラン(素案)について</p> <p>2 会議資料</p> <p>外部評価の概要(平成29年度分2次評価)、総合計画施策評価一覧、加西市行財政改革プラン(素案)</p> <p>3 会議の経過</p> <p>⇒別紙「第4回加西市元気なまちづくり市民会議の経過」のとおり</p>	

(別紙) 第4回加西市元気なまちづくり市民会議の経過

発言者	会議の経過 / 発言内容
会長	<p>1 開会</p> <p>2 会長あいさつ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・秋めいてきたなか第4回の会議を迎え、お忙しいなかご出席いただき感謝申し上げます。本日は最終回でいくつかの議事があるがよろしく願います。
	<p>3 委員等出席者の紹介</p>
委員	<p>4 議事</p> <p>(1) 外部評価の意見等について(事務局から説明)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住民にまかせることは基本的なところであり自分たちで課題に取り組むべきであるが、人口減や福祉とかテーマは地域によって状況は異なると思う。 ・共通の福祉や交通などと、特色のある地域の課題の線引きが必要である。 ・ふるさと創造会議と旧来からある区長・農会長・民生委員等との役割分担がうまくできていないので、ふるさと創造会議には町から推薦された人、若い人、子育て世代とかの人で構成するとよいのではないか。 ・全町で共通的に取り組む事項は市から呈示すべきであるが、それぞれの課題は地域で考え、200万円の交付金が住民のために有効に使われるようにしないといけない。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと創造会議には市から4つ程の課題を提案させていただいている。 ・ふるさと創造会議は地域間でスタートに5年の差があり温度差が大きい。早く立ち上がったところは地域の課題にどんどん取り組んでいるが、全体的なレベルアップが必要と感じている。組織の強化が当面の課題であり、差をできるだけ早く縮めたいと考えている。
委員 委員	<ul style="list-style-type: none"> ・最近立ち上がったところでも、しっかり取り組んでおられるところもあると思う。 ・地域おこし協力隊は、今は1名になっているが、定着しなかった要因を検証すべきと考える。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・地域おこし協力隊は4年目になっているが、思いとしては中学校区単位で地域に入っていくことを考えていた。来年度に向けて体制づくりを急ぎたい。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・地域おこし協力隊には難しい面があり、検討すべき課題は多い。
委員	<p>(2) 加西市行財政改革プラン(素案)について(事務局から説明)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・①アメリカの影響による為替変動など経済環境面での懸念、②消費税の10%への引き上げ、③市の大型事業の展開、④真備町に義捐金を100万円持って行ったが災害復興には多額の経費が何かと入用になるのを見ると、防災面の備えの費用も欠かせない等、厳しい財政が加西市では続くことになると思う。 ・加西病院にもたくさんお金がかかるので市民にしっかり状況を示して、負担について理解してもらわないといけないし、辛抱する部分もわかっただけ必要がある。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度も2億円以上の追加繰出金が発生したが、市民にわかってもらう必要がある。 ・行財政改革プランの18ページにあるように、年間の投資的経費は9億円の上限で抑制しつつ、市債発行は耐震化事業を除いて6億円の範囲としているが、どうしても臨時的な出費があり少し超えているのが実情である。病院は昨年度も2.5億円程の追加の繰出金があったが、今年度は今のところ収益改善に努め、救急受付も積極的に対応していると聞いている。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・収益のないところは人件費削減に手を付けやすいが、即人件費カットは安易な方策だといえる。病院のダウンサイジングにあたって市民の共通理解を得ないといけない。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・昨日からタウンミーティングが始まって病院の報告もあり、4～9月の前期の状況から市の繰出金の本年度見込は9億円に近い水準との説明だったが、市民からはもっと厳しく努力すべきとの声もあった。広聴活動を通じお声をよくお聞きして進めていきたい。
委員 事務局 委員	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度、市債発行額は目標額を越えているが。 ・市債発行額は耐震化のほか、その他財源対策的なものを加え18.8億円となっている。 ・実行の計画はどうなるのか。

事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・今後、総合計画の実施計画として予算の状況を見てまとめていくが、昨年同様に最終的に行財政改革プランの後ろの方の45ページ以降に加えていくことにしている。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・具体の計画内容はどんなものか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・この会議の後、各施策の予算の議論を踏まえながら内容を整理しパブコメも実施した後に内容をまとめるのももう少し先になる。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・基金残高の一人当たりの額などは、市民の目にふれるといろいろな議論を呼ぶのではないかと思うので、事実の説明の仕方そのものを、担当部局として慎重に進める必要がある。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・最悪の時期の危機的な基金残高からは、まだまだ少ないものの改善してきている。 ・基金残高の適正水準の基準はなかなか難しいが、事業を積極的にやるとどうしても残高は低めになる。加西市の一人あたりの7万円という額は、まだまだ増やさないといけないが、一般的に人口の多い大都市は低く神戸市等は4～5万円の水準である。
	<p>5 その他</p> <p>(1) 総合計画審議会答申への対応状況について（事務局から説明）</p>
副会長	<ul style="list-style-type: none"> ・庁内のプロジェクトチームは動いていることが実感でき、若い人や女性関わっているのはよい。商工会議所としても協力していきたい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと創造会議の取組はバラバラなので、核になる人が課題である。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・一番の課題だと認識しており、次の世代にきちんと引き継げるようにしたい。 ・外部の人材、例えば地域おこし協力隊や高校生・大学生などが加わっていくことが、刺激となる対応策だと期待している。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・組織は維持していくのが難しい。コミュニティを崩壊させないように、しっかりとした組織の工夫をして、地域の意思と行動を保つことが大切だと思う。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・答申にある5点のポイントは、次の10年の総合計画にもつながっていくテーマである。中間支援のあり方も細かく分けて具体化させていかないといけない。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・この会議に参加してはじめて継続的に連続して取り組んでいるのがわかったが、加西市民とはどこまで指すのか考えていかないといけないと感じている。 ・仕事柄、企業オーナーの事業承継や個人の相続事案の話に接するが、週末だけ加西に帰って来る人など定住人口以外の方がたくさんいる。若い人はつながっていたくて、仲間内の会があったりするが、このようなゆるやかなネットワークがあるとよい。 ・会社ではかつてのような支店対抗とかの運動会はやらなくなったが、最近はバーベキュー会や旅行など、全員参加を強制しない形での催しが復活してきている。 ・行政は枠をつくっていただけにして、若い人達の自由な発想を取り入れるしぐみを考えていくとよい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・定住人口と観光等の交流人口の関係人口が注目されており、来年度に向けて関係人口創出の取組みとして、ファンやサポーターとなる広い意味での加西家族のようなゆるいネットワークづくりを考えているところなので、ご提案を参考にさせていただきたい。
	<p>(2) 北播4市比較について（事務局から説明）</p>
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・都市ランキングにはあまり一喜一憂することなく、堂々と進めていくとよいのではないかと。都市銀行の支店があるのは、何か魅力のある表れだと思う。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・小野市には住宅がどんどん建っており勢いがあるように感じるが、人が集まるしかけをさらに考えていく必要がある。
副会長	<ul style="list-style-type: none"> ・北条高校活性化協議会はマスコミにも取り上げていただくなどしているが、他の自治体からも注目されている。行政は費用対効果だけでなく、新しいアクションを起こせるようにするとよいと思う。
	<p>(3) 婚活サポート事業実施報告（事務局から説明）</p>
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・成婚に至っていない原因は何か。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・男性はめんどくさがる場所があったりするのではと分析するが、セミナーや間に入る仲人役の充実を検討している。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・労組でも取り組んでいるが中々難しく、手軽なLINEでつなげていく方法もあると考えている。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・近隣で成果が上がっているのは三木市とのことだが、1年目は種を蒔いている段階ではないかと思う。企業と企業の間での出会いの場の組み合わせも考えられる。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・男性と女性とでは、考えが合わないのかもしれない。男性がそこまで考えていないケ

委員	<p>ースもあって女性の希望を考えてもらう必要があるし、草食系といわれる最近の男性の希望もわかってもらわないといけない。企業での取組も欠かせないように思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職場での出会いが少なく、また、婚活イベントに参加するのは恥ずかしいという声を聞く。もっとSNSでセミナー等の告知をするとよいと思う。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・フェイスブックは活用してPRに努めている。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・北播磨のカップリング事業で食事券を渡しているが、なかなか使ってもらえない状況で、まだ1組もできていないのが実情である。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・男性のコミュニケーション下手が目立つような感じである。そのような中、三木市の成果はサポーターの方の熱意によるところが大きいとみており、今後、三木市とのカップリング事業の連携等も検討していきたい。
副会長	<p>6 閉 会 副会長あいさつ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4回にわたって貴重なご議論、誠にありがとうございました。今年度は初年度ということもあり戸惑われた方もあったかもしれないが、事前に資料をよく読み込んでいただいて、議事がスムーズに進み、わかりやすくまとめていただいたことに感謝する。 ・二年目となる来年度についても加西市を元気にするため、皆さまのご協力をどうかよろしくお願ひしたい。
事務局	<p>ふるさと創造部長お礼</p> <ul style="list-style-type: none"> ・元気なまちづくり市民会議で、いろいろご意見いただいたことに感謝申し上げます。 ・総合計画のPDCAということで、検証いただいた意見を担当課に返して次の計画に取り組んでいくことにしたい。 ・情報伝達、広報・広聴の不足を痛感した次第で、SNSの発信も心がけていきたい。 ・来年度は総合計画の見直しに入ることから会議の回数も多くなると思うが、引き続きよろしくお願ひ申し上げます。